

閲覧用

河内長野市第2期観光振興計画（案）に対するパブリックコメント意見及び市の考え方一覧

令和8年2月23日（月）～令和8年3月10日（火）まで、市ホームページ及び市内の主な公共施設において公表し、河内長野市第2期観光振興計画（案）に対するパブリックコメントの意見募集を実施しましたところ、2人より2件の貴重なご意見をいただきました。

ご協力、ありがとうございました。これらのご意見と、ご意見に対する市の考え方は下記のとおりです。

◆分類について

変更	ご意見を受けて、河内長野市第2期観光振興計画に変更を加えました。	件
包含	ご意見の趣旨等は、河内長野市第2期観光振興計画に含まれています。	件
参考	ご意見の趣旨等は、河内長野市第2期観光振興計画に含まれていますが、ご提案内容は今後の取り組みの参考等とすべきと考えます。	2件
その他	ご意見につきましては、河内長野市第2期観光振興計画に反映しないものとします。	件

番号	分類	ページ	ご意見（の概要）	市の考え方□
1	参考	21	関西サイクルスポーツセンターや天野山金剛寺の近くに住むことから、観光振興（特にサイクルツーリズム）に関与することになったが、意見に乖離があったと感じた。河内長野市第2期観光振興計画では、意見が引継ぎされている内容と推察され、安堵している。	河内長野市第2期観光振興計画では、ワークショップ等を通じて地域の皆様をはじめとする様々な関係者の皆様の意見をお伺いしながら、連携して取り組みを推進してまいります。
2	参考	全体	1 観光振興に対する基本的考え方① 新基幹産業としての観光河内長野市の観光振興は、他の観光地のような観光単体ではなく、地域振興としての街づくりであるべきである。人口減少、小売業減少、税収不足などにより地区ポテンシャルが低下し、消滅都市とされかねない状況の中で、新たな街起こしの方向性の一つとして観光振興を位置付ける必要がある。② 人口減少の抑制のための移住地としての観光知名度による魅力づくり観光 PR 番組は街を魅力的に見せ、視聴者にはそれ	このたびは、詳細なご提案をいただき、ありがとうございます。ご意見については、観光振興全般に関するご提案として受け止め、今後の本市観光施策検討の参考とさせていただきます。

		<p>が街の魅力として映る。当市は団地開発によりベッドタウンとして発展したが、社会変化に対応できず自立性・都市中心性が乏しく、魅力が感じられない街となり人口減少の一因になっている。そこで、歴史遺産・山岳資源・アウトドア資源を身近に体験・鑑賞できる形にし、「身近に観光資源を楽しめる街」を作る。</p> <p>2 河内長野観光の問題点観光は大まかに 4 分類でき、地区特性として評価されるのは、文化財に彩られた寺などの歴史文化史跡と、金剛山を中心に役行者や葛城修験にも関わる山岳トレッキングである。問題点は以下の通り。① 観光客は雰囲気を楽しむ一般層が多いが、市街地の観光イメージが弱く、物産や店舗などが不足し楽しめない。② 歴史文化を売り物にしつつ、寺以外の市街地で歴史施設・史跡が見られず、アピール不足で魅力が出ない。③ 金剛山はインバウンド誘因として重要だが、ロープウェイ撤去により一般観光客を呼び込めず来山客減少を招いている。④ 花の文化園は(無料入園者を除き)年間 15 万人程度だが、特異性・訴求力が不足し、主要施設として改善が必要である。</p> <p>3. 河内長野観光振興の課題① 市街地における観光バザールの醸成(観光イメージ、体験、情報の充実)② 「中世に出会える街」を示すビジュアル施設の設置③ 山岳トレッキング施設の確保・確立 4、施設整備における提言観光資源は豊富だが、観光立市に必要な活用・施設面の不足が大きく、観光投資の少なさが一因と考えられる。観光は億円単位の経済効果が見込める事業として、次の整備を望む。① 「中世に出会える街」資料館(飛鳥歴史公園館のような施設)の建設、準主要文化財の公開化(オープン展示)② 金剛山ロープウェイの再興(大阪府、富田林市、千早赤阪村と共同)</p>	
--	--	--	--

問合せ先 〒586-8501 河内長野市原町一丁目1番1号

河内長野市役所(河内長野市 成長戦略局 成長戦略部 まちのソフト戦略室 産業観光課)

電話: 0721-53-1111